

再発見。あなたの知らない上市町。

{ RE:DISCOVER KAMIICHI

2022
SPRING

VOL.
2

出逢いが見つかる富山県上市町

TAKE
FREE

劔岳のふもとのまち

上市町

{RE:DISCOVER KAMICHI

上市町に住んでいる人にも、町外・県外の人にも、
もっと上市を知ってほしい。そんな冊子です。

VOL.2 出逢いが見つかる富山県上市町

-
- REPORT 1 1000年の時を見つめる「劔の大王杉」 1
馬場島荘から中部山岳国立公園の森の中へ
-
- FOCUS 上市えきなか古本市 4
富山地方鉄道上市駅構内で開催される人気イベントの魅力に迫る
-
- REPORT 2 「コケの森」千巖溪を歩く 5
日本蘚苔類学会選定「日本の貴重なコケの森」
-
- REPORT 3 眼目山立山寺/お寺で挙げる結婚式 7
トガ並木の参道に人力車 古くて新しい結婚式の形
-

1000年の時を見つめる「劔の大王杉」 馬場島荘から中部山岳国立公園の森の中へ



中 部山岳国立公園内に位置する松尾平付近の森の中。威厳に満ちた姿で佇む「劔の大王杉」は、今から30年ほど前に登山家の佐伯郁夫さんが積雪期の下山中のルートで発見した立山杉のこと。高さは約28m、幹周（胸高）は約12m、樹齢は約1000年以上と推測されています。

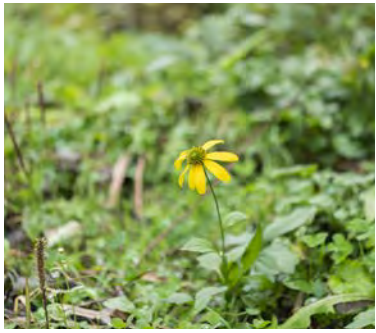
雪深い劔岳の麓でこのような立派な巨樹が生きていること自体、とても珍しいことだそう。近年ではその貴重な姿を一目見ようと、県内外から多くの愛好家や登山家たちが上市町を訪れるようになりました。

大 王杉までは、40分ほどのルートです。今回は立山山岳ガイド協会に所属する山岳ガイド・池田則章さんに同行いただき、劔の大王杉を目指します。



馬場島荘からゲートを過ぎて白萩川沿いを歩くこと約20分。ここまでは緩やかな登り道だったのですが、この先は少し険しい山道へと入ってきます。（馬場島荘からは一般車両の立ち入りはできません）踏み跡を辿ることさらに約20分。道は平坦ではなく、太い木の根を越えたり大きな石を登ったりがしばらく続きます。山道初心者であれば弱音を吐きたくなる瞬間も幾度となく訪れはしましたが、そこはなんとか気持ち奮い立たせ先を目指しました。

（山道に慣れていない人はポールを持参することで、比較的楽に歩を進めることができますよ！）山歩きは季節ごとの景観を楽しめるのが醍醐味。途中の歩道の脇や山道には、見たことのない山野草や苔、天然のキノコなど、大自然の美しさにたくさん触れることができます。この地をよく知る池田さんがいろいろと解説してくれるので、時間を気にすることなく山歩きを楽しむことができました。



**樹齢1000年以上
圧巻の佇まいに息を呑む**

「着いたよ！」と先導の池田さんの声とともに目の前に現れたのは、とてつもなく大きな杉の木でした。「ああ、これが劔の大王杉！」
「ここら辺は平地なので、長い間雪がたまるんです。雪が溶けてたくさん水がたまることで、木がどんどん生育していくんですね。だから平地の水の多いところには巨木があると言われるんです。ここに来るまでもたくさん大きな木に会いましたよね。ここからさらに3時間ほどの場所にも大きな杉の木があるんですよ」と池田さんは教えてくれました。

想像以上の大きさに言葉を失う私たち。しばらくの間、劔の大王杉を拝みます。この場所では何百年、何千年もの時を過ごしてきた大きな杉の木は、これまでどんな景色を見てきたのだろうと考えると、とても不思議な気持ちになりました。

幹の部分は人が入れるほどの大きな空洞が開いているのが特徴的。これからも静かに成長できることを願いながら、私たちは大王杉を後にしました。

上市えきなか古本市

富山地方鉄道上市駅構内で開催される
人気イベントの魅力に迫る

古書店が一堂に揃う
カルチャーイベント

富山地方鉄道「上市駅」構内を会場に、2018年よりスタートした「上市えきなが古本市」。毎年11月の上旬に開催され、これまで4回の古本市が行われてきました。

富山県東部で古本に親しみ
出合える場をつくる

古本市を監修するのは、滑川市で古書店「古本いるふ」を営む天野陽史さんです。天野さんは富山駅で毎月開催する「BOOKDAY」とやま」の実行委員長でもあり、上市町で働いていた経験もあること

出店者は毎年20店弱、富山県内より多数の古書店が販売ブースを持ち、個人書店ならではの選書で古本を販売。ほかにも、リトルプレスや書籍などを制作する作家やクリエイター、コ―

から声がかかり、企画監修に携わることになったそう。

「富山県東部のお客さんが古本に親しみ出合える場になれば」と、古書販売を行う先輩たちと共に企画を進めてきたと振り返ります。

「自分の店以外での出店は、お客さんに会いにいくという感覚で楽しいです。回を重ねるごとに認知度も高まり、今では県外からもこのイベントのために上市町に訪れたと言う人もいらつしました。このイベントしが出ない、という古本屋さんもいるんですよ。上市駅はスイッチバック駅ということもあり、鉄道好きな方が足を運んでくださることも。富山地方鉄道を使つて来場された方に

は、古本市で利用できる500円チケットも渡しています。」

上市駅開設90周年のイベントと同時開催された2021年は、18組の出店者が集結。この日はクリエーターグループが上市駅で見つけた食材や文化を弁当と読み物(包み紙)として形に仕上げた「上市の助六さん」の販売も行われていました。

天野さんは「イベントを企画したことで、上市町のガイドブックが誕生したり、県外から出店したりと声をかけてもらった」、さまざまな創作活動や新しい動きも

「上市駅はもともと商業施設があったと聞いています。古本市に来てくださったお客様から、ただけ駅に人が集まるのを見ていると、当時の風景が蘇ったようだと言われたこともありまして。今では毎年この日を楽しみにしてくれている上市町の方もいらっしゃるの、継続できるように頑張っていきたいです。」

生まれてきました。企画側としても良いモチベーションになっています。」と魅力を語ります。上市えきなか古本市を通して、古本店はもちろん、クリエイティブな発信者も増えているとのこと。

朝

9時半に出発し、スタート地点の馬場島荘に戻ってきたのは11時45分。お昼ごはんは馬場島荘のレストランで、池田さんお手製の、揚げたて山菜天ぷらとざる蕎麦のセットを注文。ハイクの疲れを癒す、美味しいランチタイムを堪能することができました。

ベストシーズンは梅雨明けから11月初旬まで。1000年前の風景や人々の暮らしに思いを馳せられる、貴重な「剣の大杉」に会いに来てください。

「劔の大王杉」へ辿り着くには、ガイドの同行は必須です。事前に上市町観光協会または馬場島荘へ連絡し、専門のガイドに引率してもらいましょう。

山岳ガイドの一人で、劔岳の登山基地「馬場島荘」の施設管理・運営を行う池田則章さんは、高校時代の山岳部入部以来、長年山に精通してきたベテランのガイドさん。現在は上市町の山岳会（上市峰窓会）と立山山岳ガイド協会に所属し、四季の劔岳主に劔の別山尾根、早月尾根）を中心に案内をされています。

「大王杉の森」の注意事項

- ・木々の健康と命を守るため、大人数を避けること。
- ・木に登ったり近づきすぎたりしないこと、木を傷つけないこと。
- ・工事や緊急車両の通行の妨げになるため、路上駐車は厳禁です。
必ず馬場島荘や家族の森周辺の駐車場に車を止め、徒歩で行くこと。
- ・ガイド同行のツアーをご利用ください。
(ガイドについては上市町観光協会でもご紹介します)
- ・入山の際は森林管理署への届け出が必要になる場合があります。

劔岳の登山基地 馬場島荘

☎ 076-472-3080

レストラン・宿泊部屋・ランドリーなどの設備が充実。風呂は大きく日帰り入浴もでき、レストランでは、そば・地取りの山菜の天ぷらが絶品です。また、馬場島周辺のキャンプ場などの管理棟もかねており、緑あふれる山並みと北アルプス剣岳に源を発する清流に囲まれ、大自然の中でゆっくりとした時間を過ごすことができます。

住所：富山県中新川郡上市町伊折字深谷 1

「コケの森」 千巖溪を歩く
日本蘚苔類学会選定「日本の貴重なコケの森」



大 岩山日石寺のすぐそばに、千巖溪（せんがんけい）と呼ばれる溪谷があります。この溪谷は2018年8月、日本蘇苔類（せんたいるい）学会により「日本の貴重なコケの森」として選定されました。

「日本の貴重なコケの森」は、日本の貴重なコケ植物群落やコケ植物が景観的に重要な位置を占めている場所の保護・保全を目的とし、現在日本では30箇所（令和4年3月時点）が選定されています。

本滝に打たれるため多くの人が寺院を参詣します。

日石寺の六本滝の脇道を少し下った場所に、百滝溪とも呼ばれる「千巖溪」にあります。びっしりと緑のコケに覆われた千巖溪一帯は、まるでコケの絨毯が敷かれているよう。コケの生育には美しい水の流れる場所が必須とも言われ、その条件を満たしている美しい自然のある場所だということが窺い知れます。



A photograph of a traditional Japanese garden. In the center, a multi-tiered waterfall cascades over dark, wet rocks. The water is white and frothy at the base. The garden is surrounded by lush green trees and foliage. In the foreground, there are several stone lanterns and a small stone structure, possibly a shrine or a well. The overall atmosphere is peaceful and serene.

千巖溪は主に、溪谷美を楽しむスポットとして紹介されていることが多いのですが、今回は「コケの森」としての楽しみ方を、富山科学博物館の学芸員・坂井奈緒子さんにうかがいました。

気軽に行ける場所で
多くの種類のコケに出合える

コケは花を咲かせず、維管束がない小さな陸上植物です。千巖溪には、特に珍しい種類があるというわけではないのですが、気軽にける場所にこのような多くの種類のコケに出合える場所としての珍しさがあります。

コケ植物は多くの種類がありますが、基本的には「蘚（セン）類」「苔（タイ）類」「ツノコケ類」に分けられています。また形状は、茎と葉が分かれる「茎葉体」と茎葉の分かれていない「葉状体」に大別されます。

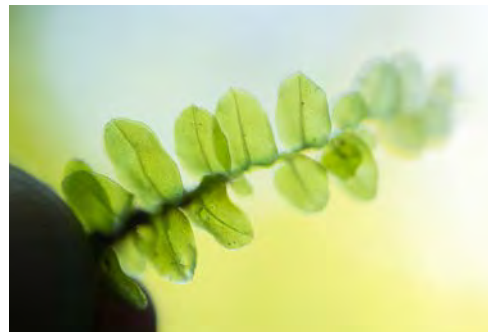
バツとみると、どれも似ているように感じられるかもしれませんが、よくよく見るとそれぞれが全く異なる形状を持っています。岩の上、樹幹など、場所によってもコケの種類は違いますので、じっくり観察してみてください。



観察にはさまざまな方法があります。ルーペは軽くて持ち運びが良いですし、スマートフォンカメラ機能やデジタルカメラで撮影をしてもいいかもしれません。コケが切り取られて写し出される世界はとても面白いですよ。あとは種類を知るとさらにコケに対する魅力が増します。特徴をメモやスケッチに書き残し、ご自宅で種類を調べてみるのもいいかもしれませんね。



誰に育てられたわけでもない、自然に生えてきたコケは、木や花とはまた違う魅力を持ち合わせています。美しい千蔵溪の景観を望みながら、ゆっくりと「コケの目線」になって散歩されてみてはいかがでしょうか。



● ● 千巖溪で見ることができる蘚苔類 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●



● ヤマトソコマメゴケ、ミヤマウロコゴケ、マツタケジャゴケ / 写真提供：日本蘚苔類学会 ● エビゴケ、ケチョウチンゴケ、マツムラゴケ / 写真提供：富山市科学博物館

眼目山立山寺 / お寺で挙げる結婚式 トガ並木の参道に人力車 古くて新しい結婚式の形



トガ並木の中で祝福された時間は
とても特別な思い出です。

尾崎聖也さん・あゆ美さん
ご夫婦に、結婚式を終えられ
た感想をお聞きました。



眼目山立山寺で結婚式を挙げ
ようと思われたきっかけを
教えてください。

知人から「立山寺で結婚式を挙げられる」という情報を聞いたことがきっかけでした。ちょうど式をどこで挙げようか検討していた時期だったので、コロナ禍で結婚式場での式を挙げることは難しいかもしれない：でも、挙式だけでも思い出に残るようなものをあげたいと思ったんです。特別なある所で式を挙げられないかという考えから、立山寺での結婚に繋がっていきま

トガ並木です。綺麗なトガ並木の中を、みなさんに祝福されながら通った時間はとても特別な思い出となりました。

事前におふたりから立山寺にお願いした事がありますか？
境内で写真展をさせていただくことです。また、厳かな雰囲気大切にしましたため仏事を先に説明せずに進めました。（ですが、少し説明をしておいた方がゲストには分かりやすかったかもしれないという反省点もあります…）



参列者のみなさんの反応やエピソードなどがあれば教えてください。

「とても良かった！」と言っていたきました。「仏前結婚式は初めて参加したけどいいね」と仏前結婚式を検討している友人もいましたね。小学校の同級生のご両親も観に来てくださるなど、地元の人々が誰でも来られる式になって良かったです。

結婚式を終えた今、改めて振り返ってみていかがでしたか？

ほっとしたのが1番です。今回の式は、住職さん、観光協会の方と、いろいろなことを話し合って準備を進めてきたんです。「自分たちらしい式を挙げたい」との思いから提案したアイデアを、やりましよう！と言っていたとき、当日は好きなことを詰め込んだ式を挙げるのができて、友人たちの手助けもあって、当初の予定よりも大きな式になりましたね。結婚式を挙げる人というよりも、大きなイベントを成功させたい！という企画者としての思いの方が強かったかもしれない（笑）。本当にたくさんの人に協力してもらいながら、2人でひとつのことを成し遂げたこの体験は、これから先の結婚生活での自信にも繋がったように感じています。



SAKKA ZEN WEDDING “禅婚” 行程一例

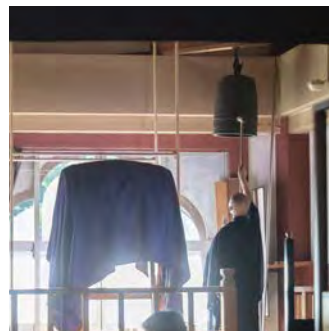
- 1 立山寺庫裡集合（打ち合わせ、着替えなど）
- 2 誓いの坐禅
- 3 参道入り口へ移動
- 4 参道を歩き、三門・中雀門をくぐり本堂前へ
- 5 赤絨毯の階段を上がり本堂の中へ
- 6 所定の位置へ移動
- 7 式師による結婚の仏事
- 8 指輪・数珠の交換
- 9 盃事
- 10 先祖への報告

申し込み
上市町観光協会へ電話、メールで問合せください。
申し込みは1ヶ月前までをお願いします。

上市町観光協会

☎ 076-472-1515 ✉ info@kamiichi.jp

住所：富山県中新川郡上市町若杉3番地3（上市駅構内）



2 021年11月6日、眼目山立山寺（がんもくざんりゅうせんじ）で仏前結婚式が行われ、1組の夫婦が誕生しました。これまでの日常が大きく変わってしまった時代だからこそ、この挙式の形にたどり着いたご夫婦は言います。

地元では「さつかの寺」として親しまれている曹洞宗の名刹・眼目山立山寺。1370年に建立されたこの寺は、立山権現がきこりの姿となって禅師を導き、寺院の建立をすすめたといえられてきました。

美しく立派な木々が立ち並ぶ立山寺の参道は、多くの観光客が訪れる上市の名所でもあり、また映画のロケ地として使用されたことも。天に向かって真っ直ぐ伸びる杉の木と、樹齢400年・県指定天然記念物でもあるトガの並木は本堂に見応えがあります。

今回仏前結婚式を挙げたのは、尾崎聖也さん・あゆ美さんご夫妻。お天気に恵まれた当日は、参道脇の友人たちから温かい声が飛び交う中、人力車でゆっくりと移動。三門・中雀門を通り、式が行われる本堂へと向いました。境内にはウエルカムボードならぬ、新郎の聖也さんが撮った新婦・あゆ美さんのミニ写真展を行い、これまでの二人の馴れ初めや軌跡を紹介し参加者たちも笑顔でエピソードを語り合う姿が印象的でした。

眼目山立山寺の戸田光隆住職に「お寺での結婚式」についてうかがいました。
お寺はお葬式や法事などを行う場所の認識が強く、仏様の前で結婚式を行うというのはあまり知られていないのかもしれません。どなたでも気軽に足を踏み入れてもらうお寺本来の役割を果たすべく、上市町観光協会と協力して結婚式を企画することになりました。

今回は仏前結婚式の前後の部分について、新郎新婦さん、上市町観光協会の方と打ち合わせをして形作っていったんです。人力車を使った登壇は観光協会からのアイデアで、トラックの荷台をウエルカムボードのようにしたいというのは、カメラマンでもある新郎からのアイデア。できるだけご夫婦の意見を汲み取れるよう、打ち合わせさせていただきました。

仏前結婚式は、坐禅からはじまり、指輪の交換、般若心経を唱えるなど、通常の仏事としての形式で行います。仏前なので、数珠の交換もあるんですよ。新郎新婦両家の先祖代々の位牌を設置し「過去への感謝と未来の誓い」も行っていたきました。これは結婚式もお葬式も同じです。また、結婚後も改めて「心の確認」をお二人で行われるなど、いつどなたでも訪ねやすい場所になれるといいなと思っています。

取材を通して（ライター後記）

このたび「RE:DISCOVER KAMIICHI」

は、2号目を無事発行することができました。今号のテーマは「出逢い」です。上市町を歩いていたら、これまでにないさまざまな出逢いがありました。そこで今回は「自然」や「人」、「時間」など、目に見えるものはもちろんですが、目に見えずとも記憶に留めておきたいと思える数々の出逢いをご紹介しますと思います。

上市町に住む人にとっては、街の魅力を再発見できる出逢いであり、また町の外に住む人にとっては、上市町へ「出逢うために」訪れていただきたい。誰もがワクワクできる、そんな新しくハツとする出逢いに触れていただけたら幸いです。

きっと、あなたも。

RE:DISCOVER
KAMIICHI



KAMIICHI
TOYAMA, JAPAN

発行：上市町観光協会

TEL/076-472-1515 WEB/kamitabi.net

取材・文/居場 梓 撮影/利波由紀子 デザイン/GATHER AROUND